

令和元年度第1回柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会議事録

日 時	令和元年5月30日(木) 午前10時から午前11時30分まで
場 所	柏原市立男女共同参画センター会議室 (柏原市役所別館3階)
出席者	<p>(柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会委員)</p> <p>○石橋委員 (柏原市健康福祉部)</p> <p>○石村委員 (パナソニックサイクルテック株式会社)</p> <p>○市川委員 (柏原市政策推進部)</p> <p>○茅野委員 (大阪中河内農業協同組合)</p> <p>○河村委員 (大阪教育大学)</p> <p>○重森委員 (関西福祉科学大学)</p> <p>○西戸委員 (柏原市市民部)</p> <p>○三宅委員 (市民)</p> <p>○渡辺委員 (株式会社りそな銀行柏原支店)</p> <p style="text-align: right;">(50音順)</p>
欠席者	<p>○畠山委員 (柏原市労働組合協議会)</p> <p style="text-align: right;">(50音順)</p>
事務局	<p>○山口 総合政策監</p> <p>○小林 政策推進部次長</p> <p>○山本 企画調整課課長</p> <p>○中嶋 企画調整課課長補佐</p> <p>○松田 企画調整課主務</p> <p>○大井 柏原市商工会事務局長</p>
会議次第	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員及び事務局の紹介</li> <li>・委員長及び副委員長の選出について</li> </ul> <p>2 議題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 推進委員会開催の目的について</li> <li>(2) 柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況と効果検証について</li> <li>(3) 地方創生推進交付金について</li> <li>(4) 次期柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略について</li> </ul> <p>3 その他</p> <p>4 閉会</p>

## 1 開 会

	<p>○委員会成立報告 委員 9 名出席により、推進委員会規則第 5 条第 2 項の規定に基づいて、委員会が成立していることを報告。</p> <p>○委員及び事務局の紹介</p> <p>○委員長及び副委員長の選出 委員長：市川委員 副委員長：西戸委員</p>
--	---

## 2 議 題

委員長	<p>開会挨拶</p> <p>委員の皆様には、ご多忙の中、ご出席いただき感謝申し上げます。昨年に引き続き、委員長を務めさせていただく中で、不慣れな点多々あると思われるが、最後までよろしくお願い申し上げます。</p>
事務局	<p><b>【資料確認】</b></p> <p>次第</p> <p>資料 1 柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会について</p> <p>資料 2 柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI（重要業績評価指標）進捗状況一覧表</p> <p>資料 3 市の現況について（人口の推移等）</p> <p>資料 4 地方創生推進交付金事業における KPI（重要業績評価指標）進捗状況一覧表</p> <p>参考資料 地方創生推進交付金事業の概要</p> <p>資料 5 次期柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略について （資料番号なし） 委員名簿 柏原市統計書 2018 年版</p> <p><b>【委員会の運営等】</b></p> <p>委員会を公開とし、推進委員会議事録を作成し、公表する。 委員会開催時には傍聴者の入室を認める。</p>
委員長	<b>【議事進行】</b>
事務局説明	<p>（1）推進委員会開催の目的について</p> <p>（事務局 説明）</p> <p>資料 1 柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会について</p>
委員長	<p>事務局の説明に対して、意見又は質問等を問う。</p> <p>（意見、質問なし）</p>

	(2) 柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況と効果検証について
事務局	(事務局 基本目標ごとに説明) 資料2 柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI(重要業績指標)進捗状況一覧表
事務局説明	《基本目標1 子育て環境ナンバーワンのまち かしわら》
委員長	事務局の説明に対して、意見又は質問を伺う。  (意見、質問なし)
事務局説明	《基本目標2 働きやすいまち かしわら》
委員長	事務局の説明に対して、意見又は質問を伺う。  (意見、質問なし)
委員長	最後にまとめて質問でも良いか。
事務局	最後に全項目について質問をいただいても良い。
事務局説明	《基本目標3 住んでみたい、住み続けたいまち、かしわら》 公式サイト閲覧件数について、前年度以前から指摘を受けていたトップページのみの閲覧件数カウントとなっていた点について、サーバの更新により全ページの閲覧件数をカウントできるようになったことから、基準値との比較ができるようになった。そのため、前年度からは大幅に数値が増加している。
委員長	事務局の説明に対して、意見又は質問を伺う。  (意見、質問なし)
事務局説明	《基本目標4 暮らしやすいまち かしわら》
委員長	1～4全ての基本目標に関する事務局の説明に対して、意見又は質問を伺う。
委員長	総合戦略に掲げているKPIについて一通り進捗状況の説明があり、委員の皆さんにも意見を伺った。総合戦略の進捗状況は分かったが、これまでの取組による、市の人口状況の変化について報告をお願いします。

事務局説明	<p>(事務局 市の現況について説明)</p> <p>資料3 市の現況について (人口の推移等)</p>
委員長	<p>事務局の説明に対して、意見又は質問を伺う。</p> <p>(意見、質問なし)</p>
委員長	<p>この総合戦略も今年で最終年度となっているが、人口減少の傾向が続 き、出生数も減っている状況である。市による人口減への対策、取組があ れば報告願う。</p>
事務局	<p>即時的に効果の見込める政策や対策というものは残念ながらないが、今 後の人口減少を食い止めるための中長期的な対策について、後ほど説明す る予定の地方創生推進交付金を活用した母親労働拠点創出事業や認定こ ども園の開設、放課後児童会の開会時間の延長など、子育て施策を充実し ている。子育て施策を充実することで子育て世帯にとって住みやすい環境 を作り、子育て世帯の増加、特に少子化という部分について改善に結び付 ければと考えている。</p> <p>このほかの総合戦略に掲げている事業についても、来年度に向けて事業 担当課からの提案を受けて、取組を着実に進めていくことが必要だと考え ている。</p> <p>大学連携についても今年度は力を入れている。総合戦略にも掲げている 大阪教育大学と玉手山学園との連携事業については、毎年多くの事業を実 施し、特に玉手山学園とは、学園で力を入られている地域連携公認プロ グラムという独自のプログラムで、市との連携を位置付けていただき、学 生や大学のもつポテンシャルで地域活性化に積極的に取り組んでいただ いている。</p> <p>また、今年度は新たに柏原市の魅力を高める新たな取り組みとして、近 畿大学、大阪教育大学において、学生に授業やゼミで地域資源の新たな活 用方法、効果的な魅力発信方法などを研究していただく取り組みを進めて いる。</p> <p>直接的な定住人口等の増加、若年層の定住人口の増加につながるもの ではないが、「柏原市に関することを市外に向けて発信する」、「柏原市の魅 力をより深める」ことによって交流人口や学生が関わることでの関係人口 の増加に結び付けていき、さらに定住人口の増加につながるよう施策展開 を考えている。</p> <p>委員の皆様にもそれぞれの専門分野において、事業の見直しや提案等が ありましたら、委員会以外でもご提案、意見をお願いしたい。</p>

委員長	事務局の説明に対して、意見又は質問を伺う。
A委員	<p>先ほどの説明にあった通り、玉手山学園では学園を挙げて、公認プログラムとして主に柏原市をターゲットとした形で学科や高校、幼稚園で何かできないかと取り組んでいる中で、人口動態を見ると5歳階級別人口で大学の出入りによる関係が見えてくるかと考えられたが、75歳以上の減が100人を超える人数となっており、高齢者対策が重要なのかと考えられる。今年度から公認プログラムとして、リハビリテーション学科の理学療法学専攻で社会福祉協議会に柏原市から委託している各種介護予防事業に入って、この事業の効果に関して3年程度の計画で体力や能力の現状とその後を測定することで、自分たちの体がどれだけ良くなっているかを見ていただく予定にしている。これからは自分の体の異変を早めに知り、早めに病院に係り治療していくという予防が大事になり、これが75歳以上の人口減を防ぐ一番の方法ではないかと考えています。学園で柏原市全域において体力測定をする機会を作っていければと考えています。</p>
事務局説明	<p>(3) 地方創生推進交付金について</p> <p>(事務局 説明)</p> <p>資料4 地方創生推進交付金事業におけるKPI(重要業績評価指標)進捗状況一覧表  参考資料 地方創生推進交付金事業の概要  追加資料 大奈ウォーク公式ガイドマップ  JTB龍田古道を歩こうパンフレット</p>
事務局説明	<p>追加資料について説明します。</p> <p>大奈ウォーク公式ガイドマップについては、奈良県香芝市、王寺町、三郷町、柏原市の2市2町で3年間取り組んでウォーキングルートを紹介するものを作成した。今後は、少しでも多くの方に来ていただけるようイベントを開催するなどしていこうと考えている。</p> <p>JTB龍田古道を歩こうパンフレットについては、地方創生推進交付金で三郷町と取り組んでいるものである。この龍田古道については、日本遺産を目指した取り組みも進めており、残念ながら今年5月の認定には採択されなかったが、今後も来年度の最終の採択に向けて、今回世界遺産に登録される予定の古墳群などとも連携も図りながら、柏原市として龍田古道を盛り上げていきたいと考えている。</p> <p>今後、特に大奈ウォークのガイドマップについては、できるだけ広く知っていただけるよう、配架していただければお声かけをお願いしたい。</p> <p>また、それぞれの機関でも、ウォーキング等に活用していただけるようお願いする。</p>

委員長	事務局の説明に対して、意見又は質問を伺う。
B委員	<p>市民の一団体として我々が行っているウォークは、この大奈ウォークの場所からは外れているが、年2回程度、10年以上続けていて、1回100名程度来ていただいている。私たちが取り組んでいるのは、柏原市が自然豊かなまちであるということを知っていただく取り組みであり、SNSで公開すると同時に新聞でも取り上げていただいているが、近隣の八尾、東大阪や奈良県香芝市、兵庫県や滋賀県からも来てくれている。遠方から来られる方に聞くと、神戸からの鉄道の便が良くなっていて、堅下駅やJR柏原駅から高尾山に10分、15分で登れて、山を回って30分程度、そこから信貴山に行く。これが一つのルートになっている。我々は秋と冬の時期しかおこなっていませんが、JRや近鉄で乗り降りして山に向かっていく方やグループがシーズンを通しておられるということで、柏原にはたくさんの駅があり、そこを足場にしていろんなところへ行くルートはあるわけですから、これらをオープンに出していくことで集客などに繋がっていくと思う。昨年、兵庫県の旅行社が水仙郷ウォークの視察に来られて、バスで行きたいと言われたが、事情としてはワイナリーも回られるということで、このような申し出も今後に繋げていって欲しいと思う。そして、地元の方々にも理解していただきたい。柏原と国分で分けて考えるわけではないが、国分地区の方々の高尾山に関する認知度が高くて、我々は徹底して情報を流すことで、今年の2月の水仙郷ウォークには多くの国分の方が来られた。情報提供は大事になってくるので、ガイドマップも多くの場所に置いていただく、特に柏原市外にも置いてもらって、上手く取り入れていって欲しいと思う。</p>
委員長	<p>2市2町の取り組みのため、委員が言った部分は漏れているようですが、大奈ウォークのガイドマップについては、様々なところに置かせていただいて、SNSを使ったり、広報を使ったりして、PRをどんどん進めていくよう検討していただきたい。</p>
事務局	<p>大奈ウォークのガイドマップについては、我々も市外にPRをと考え、大阪市内のアウトドア用品店として好日山荘や石井スポーツといったところに声を掛け、登山初心者の方に見ていただけるようにと依頼したところ快諾をいただき、5月に置かせていただいている。また、団体でそのような活動を行っているところとして、ボーイスカウトの協会を訪問し、お渡しして活用を依頼している。</p> <p>また、柏原市が市街地から近いアウトドアフィールドが点在していて、その魅力を高めることが大事であると認識してきているので、何らかの方策・施策を打ち出せないかと考えている。今後の展開として、この部分は</p>

<p>委員長</p>	<p>着目していきたいと考えているので、委員からも提案や意見をいただくようお願いする。</p> <p>交付金に関しては、昨年度から「バーチャルとリアルを融合させた3幸プロジェクトが開始されているが、これらの事業の継続と検証を行うと同時に先駆的な取り組みについても実施をお願いする。</p> <p>また、平成30年度の調査中の実績値についても確認ができた時点で委員への報告をお願いする。</p>
<p>事務局説明</p>	<p>(4) 次期柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略について</p> <p>(事務局 説明)</p> <p>資料5 次期柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略について</p>
<p>委員長</p>	<p>第5次総合計画の開始に総合戦略を合わせ、1年の間については、国の骨子案等、出てくる国の戦略を織り込み、この流れを継続するということがよいか。</p>
<p>事務局</p>	<p>次期総合戦略としての大幅な改訂、つまりもう一度総合戦略を策定する部分は令和3年度の第5次総合計画の開始に合わせる。令和2年度の一年間に関しては、国・府の総合戦略で変更となった部分を勘案して、現行の総合戦略を伸ばすという方向性である。</p>
<p>委員長</p>	<p>事務局の一年間延長という形の説明に対して、意見又は質問を伺う。</p>
<p>C委員</p>	<p>総合戦略を総合計画に併せて一年延長するということが、国が次の戦略をどのようにするかこれから示してくる中で、他のところより準備期間が一年多くなるので、その間にも柏原市として新しい展開というものを行っていくということによろしいか。</p>
<p>事務局</p>	<p>委員のおっしゃるとおり、国は令和2年度から総合戦略を改定するので、その中で新しい部分については、延長する中においても取り入れていく必要があると考えている。</p>
<p>委員長</p>	<p>委員からの発言があったとおり、国から骨子案等が出てくる中で、その中身については延長する部分についても取り入れていき、委員会を開いて報告していくということによいか。</p>
<p>事務局</p>	<p>国が出してくる次期戦略についても、勘案することが必要となるので、延長としているが、国の方針や地方向けの支援策について取り入れていく</p>

D委員	<p>ことは考えている。これらについては、改訂案ということになるため、委員会を開いて、委員の皆様にご意見をいただこうと考えている。</p> <p>改訂の形態にもよると思うが、改訂の中身が大きくなった時に、この委員会を開く回数をあまり重ねられないと思うがどうか。これまでは年2回だったと思う。</p>
事務局	<p>これまでは、年間2回実施だった。</p>
D委員	<p>令和元年度は何回か委員会を開くということで良いか。</p>
事務局	<p>スケジュールについては、後ほどお話する予定であった。委員会は今回のように春先に1回、年度が終了する2、3月頃にKPIの設定内容や新規事業の総合戦略への反映などのために1回の年2回開催で数年実施してきた。今回は延長ではあるが一定内容の改訂を行うことから、国の骨子案等の内容を検討して、秋頃にもう一度委員会を開催して意見をいただく。その結果、意見が多数出るなどして、委員会開催がもう少し必要であれば、回数をさらに増やすことも考えている。</p>
委員長	<p>必要に応じて委員会の開催回数は増やさせていただき、委員の皆様のご意見をお伺いしていきたいとのことで良いか。</p>
事務局	<p>結構です。</p>
C委員	<p>延長のために、国の方針等を新たに取り入れるというのは分かるが、本来は新しい戦略をつくる必要があるところを1年遅らせることとなる。新しい戦略策定の着手を今年度中には行わないということか。今年度の延長については切り離して考えるのか、それとも準備期間を2年あるとの認識で、新たな戦略策定の着手も始めながら、延長版を作っていくのか。</p>
事務局	<p>市の総合計画策定の進捗というものもあるため、現状としては分けた形で考えている。令和2年度には総合計画の基本構想、基本計画の案が形作られてくるため、それらが形作られた部分に基づいて、次期総合戦略を作ることを考えている。ただ、国の総合戦略の研究については、今年度中から始めて、委員の皆様への情報提供等も実施していきたいと考えている。</p>
C委員	<p>国の総合戦略があつて、柏原市の総合戦略を策定するということが、総合計画についても関係があるということで、一般的には総合戦略があつて、総合計画が作られるような認識であるが。</p>

事務局	<p>市町村は、平成 23 年度まで総合計画の基本構想の策定を義務付けられており、どの市町村も約 10 年を期間とした、市の長期的かつ基本となる計画を策定していた。これを基本として、各種福祉系や産業系などの計画を作るのが市町村の基本的な計画の構成となっている。</p> <p>総合戦略は平成 27 年度に国で策定され、計画期間を 5 年としている。計画の位置づけとしては、総合計画が一番上にあり、その下に総合戦略は連なっている。重なる部分等はあるが、総合計画があつての総合戦略となっている。</p>
委員長	<p>また、分からない部分があれば、改めてご説明いただくということで良いか。</p> <p>この延長について、多くの意見をいただいたが、この意見に対する事務局の回答も踏まえ、次期柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略については事務局の方針で改訂を進めるということで良いか。</p> <p>(異議なし)</p>
委員長	<p>ほかに事務局からはないか。</p>
事務局	<p>今後のスケジュールについて説明する。総合戦略の見直しがあるため、例年は 2, 3 月頃に次の委員会を開催し、年 2 回となっていたものを、今年度については、10 月頃までに事務局としての延長案を一度提示し、委員会を開いて意見をいただきたいと考えている。その後、検討の進捗によっては再度委員会を開催するなどし、最終的には今年度の 2, 3 月頃に来年度の新規事業等を含めた形での改訂(案)を審議する委員会を行いたいと考えている。</p>
委員長	<p>事務局の説明に対して、意見又は質問を伺う。</p> <p>(意見、質問なし)</p>
委員長	<p>事務局が説明した内容に基づいて、今後進めるようお願いする。これにて議題は全て終了となるが、他に意見等ないか。</p> <p>(意見、質問なし)</p>
委員長	<p>委員の皆様方には長時間にわたる議論をいただき、感謝申し上げます。次回も、活発な議論をいただくようお願い申し上げます、本日の会議を閉会させていただきます。</p>